

# 東海再処理施設の沿革

---

昭和46年6月	建設着工
昭和52年9月	使用済燃料を用いた試験を開始
昭和56年1月	本格運転開始
平成2年11月	使用済燃料の累積処理量500トン達成
平成14年6月	使用済燃料の累積処理量1000トン達成
平成18年3月	電気事業者との契約に基づく再処理終了
平成19年5月	耐震安全性に係る安全審査指針類の改訂に伴う耐震性向上工事実施のため再処理運転を中断（累積処理量約1,140トン）
平成23年3月	東北地方太平洋沖地震発生
平成25年12月	核燃料施設等の新規制基準施行
平成26年9月	廃止措置へ移行する方針を表明（使用済燃料の再処理を行う場合に必要な全施設を対象とした新規制基準対応には多額の費用がかかる見込みであり、費用対効果を勘案）
平成28年11月	原子力規制委員会に「東海再処理施設の廃止に向けた計画等」を報告
平成29年6月	廃止措置計画を申請
平成30年6月	原子力規制委員会が廃止措置計画を認可